



# INDEX vol. 66

- page 2～5.....我が校の自慢  
みんなの学校 きらりの声
- page 6.....市P連情報発信

## ガイド このシンボルは何でしょう?

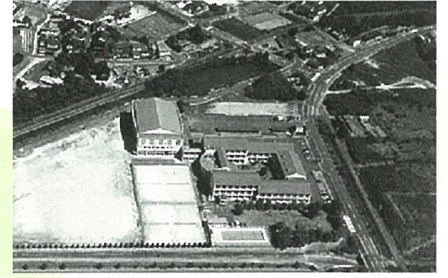
SCHOOL



松江市内の小中学校のシンボルを集めてみました。  
どこの学校の「何」がわかりますか？

# 6ブロック 湖北中学校



開校20周年記念の航空写真(平成25年度)

## 我が校の自慢

### 『誰もが居心地のいい学校』を目指して

湖北中学校では、目指す学校像を『誰もが居心地のいい学校～自分を大切に他の人も大切に～』としています。「誰も」というのは、生徒はもちろんですが、教職員、保護者、地域の方など学校にかかわる人すべてを指しています。「居心地のいい」とは、人が大切にされ、やっぱり湖北中はいいなって思える状態のことです。

後期新生徒会ではこれまでの本校の伝統を引き継ぎ、まず「自分から進んであいさつをする」を重点目標として、居心地のいい学校・明るい地域づくりに取り組みます。

校長 秦 誠司

## みんなの学校 ぎらりの声

11月9日に湖北中学校で毎年恒例の湖北白鳥学園PTAソフトバレーボール大会を開催しました。湖北白鳥学園とは、湖北地区の中学校1校、小学校3校、幼稚園3園からなり、小規模校、中規模校が複数点在する施設分離型校区の小中一貫教育に取り組んでいるところです。

そしてその中から湖北中と、古江、秋鹿、大野の各小学校のPTA保護者、教職員合わせて100名超、4チームの参加がありました。

この大会は親睦を深める目的で行われ、今年で39回目の大会となります。

試合は4チームの総当たり戦で行われ、各試合とも熱戦が繰り広げられ見事湖北中が優勝することができました。

大会も好プレー、珍プレーなどあり応援も大いに盛り上がり参加された皆さんそれぞれ楽しむことができ、素晴らしい大会となりました。

PTA副会長 香川善文



秦校長と新生徒会三役

# 1ブロック 生馬小学校

## 我が校の自慢

### 生馬小のすばらしさ

- ◎子どもたちのすばらしさ
  - ①透き通るような声で校歌や今月の歌を歌う「力」があります。

- ②一列で並んで集団登校できる「協調性」があります。
- ③松江清心養護学校の友達と心を通わす「絆」があります。
- ④不定愁訴(心が不安定な状態)で保健室に行く子どもの数がとても少なく「心の健康」があります。
- ⑤年間を通して欠席が少ない「元気」な子どもたちです。

### ◎地域・保護者のすばらしさ

- ①授業公開日や学校行事にいつもたくさん参加して下さいます。
- ②多くの地域講師や地域ボランティアが授業や学校行事を応援して下さいます。
- ③すくーるメールへの加入家庭が100%です。

### ◎教職員のすばらしさ

- ①子どもの気持ちに寄り添い、子どものために「考え」「行動」しています。
- ②「熱意」「創意」「誠意」で「授業づくり」「集団づくり」「健康・体づくり」に取り組んでいます。
- ③保護者・地域とのつながりを大切にした教育活動をすすめています。

校長 福井一成



## みんなの学校 ぎらりの声

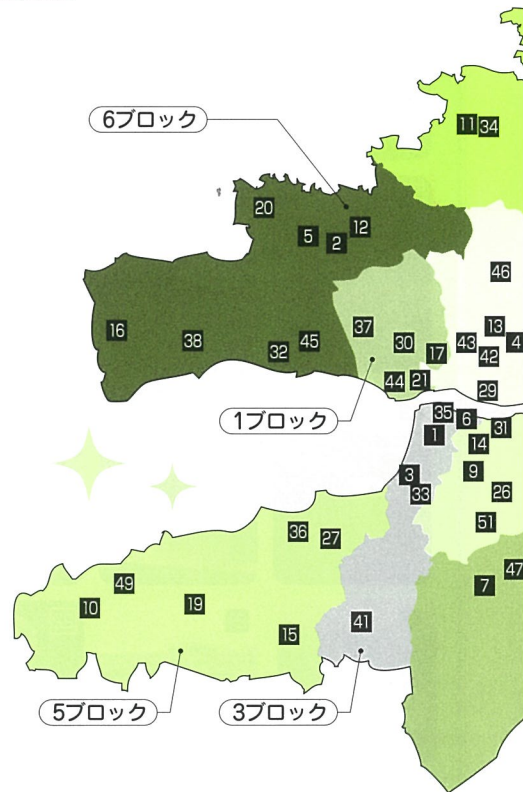
生馬小学校PTAでは、文化研修部と生活環境部の2つの専門部に分かれて活動しています。

生活環境部では、毎年恒例の奉仕作業を行い、児童・保護者・教職員で校舎の窓ふきから草刈りなどの作業を行いました。

文化研修部では、「姿勢改善に役立つ体幹トレーニング実践」として健康運動指導士による実技指導を行い、体を動かしながら児童・保護者ともに姿勢改善に取り組みました。

生馬小学校は小規模校ではありますが、小さいながらも家庭と地域と学校が一緒になって活動していきたいと思えます。

PTA会長 武田仁志

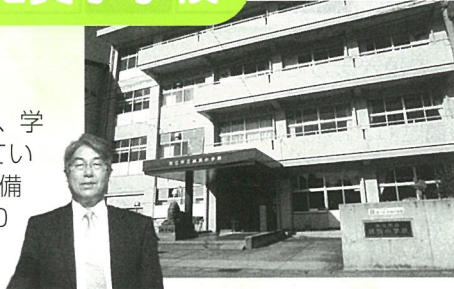


# 3ブロック 雑賀小学校

## 我が校の自慢

### 雑賀魂

雑賀小学校は、学制公布を受けていち早く町内で準備が進められ、明治6年4月20日洞光寺内において開校しました。「第1番小学」でした。以来、澤野初代校長の教育方針の理念が「雑賀教育」として継承され、今年で開校141年を迎えました。



学校では、雑賀教育資料館の活用、開校記念日における雑賀相信会（卒業生会）会長の講話、澤野初代校長の墓参りなどを通して「雑賀教育」の精神を受け継いでいます。

何事にも「本気で、仲良く、元気に」取り組み、これからの未来を切り拓くことのできる、自主独立の精神とたくましい実践力を持った「雑賀っ子」をめざして、保護者や地域の皆様に厚く支えられながら「雑賀魂」を育てています。

校長 北尾浩之

## みんなの学校 ぎらりの声

### 楽しく互いに体験的に!! 雑賀PTA爆談!



雑賀小学校PTAでは、今年度の研修会として「雑賀PTA爆談～親学プログラム5回シリーズ～」を実施しています。

県立東部社会教育研修センターの協力を得て、10月から月一回ペースで行っています。参加者からは「子どもとの会話」をもっと増やしたい!! が、反抗期もあり、なかなか……。『夫婦の会話』も増やしたいなあ』『いつもガミガミ怒っている毎日ですが、カードを見て、『感謝の想いを忘れていたな』と気づきました。これからは、子どもが産まれた時の気持ちを忘れず、過ごしていきたいです。（『ガミガミ』は減らします!!）』といった感想をいただいております！

皆さんも一緒に親学を体験してみませんか！

PTA会長 名目良明利

8ブロック



- 16 大野小学校「おはようございます」…あいさつと共に元気よく登校してきます。
- 17 城北小学校「今では珍しい二宮金次郎像」…この像は二代目で顔立ちが現代風です。
- 18 本庄小学校「100年以上地域住民に愛された『紅梅』と赤十字思想の『糸杉』」
- 19 来待小学校「いしまるくん」…地元特産の来待石で制作されたモニュメント。児童に親しまれています。
- 20 恵曇小学校「校訓碑」…「海の子 恵曇の子 つよく かしこく やさしく」と刻んであります。「つよく」は体力と意志、「かしこく」は知性と行動性、「やさしく」は情操と連帯を表します。
- 21 内中原小学校「緊急用地下貯水槽」…内中原小学校の校庭地下には、緊急時のために地下貯水槽があります。災害等により水道水が使えないとき、この水を利用します。
- 22 意東小学校「郷土の偉人・陣幕久五郎」…陣幕久五郎は、第12代横綱、通算勝率94.6%で人気のあった名力士。

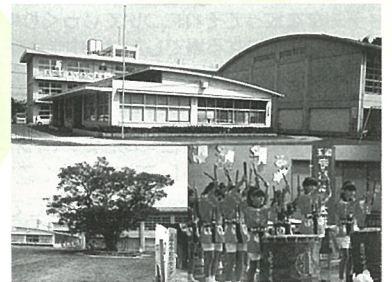
- 23 揖屋小学校「いこいの森」…その名の通り、憩いの場として児童が集う場所となっています。
- 24 朝酌小学校「松」…朝酌小学校と共に歩み、卒業写真はこの松を背景に撮られている。
- 25 本庄中学校「枕木山強歩大会」…40年以上の歴史を誇ります。
- 26 湖東中学校「ふれあいホール」…吹奏楽部が音楽を奏で、奥の「中庭」で子ども達が憩う姿が見られます。
- 27 玉湯小学校「センダンの木」…明治33年（1900年）湯町玉造村学校組合尋常高等小学校が現在地に開校した際植えられた。島根県内で最大の巨木。
- 28 東出雲中学校「1本の木が3本の枝に分かれた松」…昭和32年の揖屋中学校、出雲郷中学校、意東中学校の統合を記念して、出雲郷の今宮から運ばれてきた。旧校舎の職員玄関横にあったが、現在、新校舎の校長室前の庭に移植されている。

## 我が校の自慢

### ～地域の一員として、地域と共に～

玉湯町は古代から開け、温泉、古墳、勾玉、玉作湯神社、工房跡など観光資源が多く、また玉造温泉を中心とする観光地としても有名な土地柄です。玉湯小学校児童は、明るく素直な性格を持ち、地域の一員として玉湯まがたま学園全体で「挨拶運動」に取り組んでいます。町内の方はもとより、町外の観光客の方にも挨拶するように努めています。そして、結成約25年のまがたま太鼓部の活動で、町内の高齢者施設等での演奏活動にも取り組んでいます。

校長 神門三郎



## みんなの学校 ぎらりの声

毎年10月の参観日に併せPTA主催の研修会を開催しております。今年、講師に石倉一希先生をお迎えし、講演会を開催いたしました。石倉先生は、ユニバーシアード競技大会に日本代表として4×100mリレーで優勝を果たしておられ、100mの山陰記録保持者でもあります。現在は、指導者として選手の育成に情熱を注いでいらっしゃいます。

当日は、ご自分の体験から小さな目標を一つ一つ達成し、さらに上の目標に向かって邁進することで結果を残すことができました。もちろん一人でできたわけではなく、自分を理解し助

けてくれる人が多数あり、家族の支えが大きかった。夢は一人ではかなえられない、本気で夢を追う人には本気で助けてくれる人がいる。自分を支えてくれた人に感謝の気持ちを忘れないようにしているというお話がありました。子どもたちは、世界で活躍したアスリートのお話に目を輝かせ、保護者も子どもたちの頑張りを支えることの重要性を再認識する講演会となりました。

PTA会長 福間紀好



# 8ブロック 八束学園

## 我が校の自慢

### 笑顔が輝き、汗が光り、 歌声が響く元気な学園



八束学園愛唱歌に、「わたしたちの住む町 みんなの笑顔が輝いて 八束色のぼたんが咲き誇る」とあるように、わが校の自慢は、施設一体型の校舎で学ぶ子どもたちの笑顔です。また、春には綺麗な牡丹が島のあちこちで見ごろとなり、様々な形で教育活動にも取り入れています。さらに、中学部の生徒たちの部活動に取り組む姿勢には目を見張るものがあります。中でも吹奏楽部は、「ぼたん祭り」(4月)「敬老のつどい」(9月)など積極的に地域に出かけ自分たちの演奏を披露し喜んでいただいています。

学園長 片山寛志



## みんなの学校 きらりの声

あいさつで  
笑顔あふれる八束町

八束学園 PTA

### 八束学園PTAの取り組み

平成26年度八束学園PTAでは特に公民館・地域と連携した取り組みとして、「あいさつ運動」を展開しました。「あいさつで笑顔あふれる八束町」をスローガンにして、地域の方々にもご協力を頂き、以前よりもあいさつができるようになったとの声も届いています。また、平成22年度から母親委員会を中心に食育に関する取り組みを継続しています。今年度は「子どもでもできるおやつ作り」をテーマに夏休み中にレシピを募集し、秋には研修会を開き実際に作って、試食も行いました。地域保健師さんや学校医の先生からもアドバイスを戴き有意義なものとなりました。今後もこれらの事業は継続して行きたいと考えています。

PTA会長 矢壁正樹



- 29 母衣小学校「ホール」…全校集会、ミニコンサート、地域の文化祭など人の集う温かいホールです。
- 30 法吉小学校「校章」…法吉の地名起源の法吉鳥(鶯)、花、法吉の法を圖案化したもの。
- 31 津田小学校「樹齢400年の松の根」…津田小の玄関に飾られる津田の松原の根。
- 32 湖北中学校「校舎中庭の山桃の木」…湖北中樹木地図No.1の木。静かに見守っています。
- 33 湖南中学校「102階段」…体力づくりのために生徒が上り下りした時代も。
- 34 島根小学校「校歌」…大きな夢に向かって逞しく育つことを願って作られた校歌です。
- 35 中央小学校「屋上プール」…市の中心部にある中央小学校の特徴は、何といってもコレ!
- 36 玉湯中学校「校舎正面に輝く校章」…布志名焼き36片を組合せて製作されました。
- 37 生馬小学校「学校下の校門」…呑むした来待石の門柱が歴史を物語っています。
- 38 秋鹿小学校「初代校長奥原碧雲先生の銅像」…校歌を作词。歌人としても有名。
- 39 竹矢小学校「豊かな自然」…校庭を囲む桜の木や校庭の芝生など、豊かな自然に恵まれた学校です。
- 40 美保関小学校「高麗芝生の中庭」…本校は口の字の校舎で真中が芝生になっています。休憩時間に子どもたちが転がって遊んでいます。
- 41 忌部小学校「校章」…忌部という字の回りに昔、大量生産されていた勾玉を入れ校章にしたと思われます。
- 42 附属中学校「校章」…penとmouthを形象化したもので「勉強」と「責任ある言論の自由」を表している。
- 43 附属小学校「校歌碑」…正門近くであり、毎日児童の通学を見守っています。開校百周年記念の碑です。
- 44 第一中学校「今年の生徒会スローガンの看板」…920人の「HERO」がいます。
- 45 古江小学校「チームふるえ」…児童、教職員、保護者、地域との結束を表す合言葉です。
- 46 持田小学校「持田小PTAキャッチフレーズ・シンボルマーク」…各種文書に使用しています。
- 47 八雲小学校「50周年記念碑」…この碑は、今年八雲小学校が創立50周年を迎えたことを記念して設置されたものです。碑には、校歌が刻まれ、その周りには、星上山を表す石が置かれ、石の並びは意宇川を表しています。
- 48 八束学園「小中一体型校舎」…小学生と中学生が同じ校舎で仲良く学んでいます。
- 49 穴道中学校「伝統ある生徒会のテーマ」…体育館の窓に掲げられている。昭和63年より代々引き継がれてきた生徒会のテーマ「心と心の手をつなぎ、輝くみんなの穴道中」が、体育館改築に併せて今年装いを一新。
- 50 美保関中学校「体育館の緞帳」…美保関町のシンボルが刺繍してある自慢の緞帳。
- 51 大庭小学校「がんばりぬくぞ大庭っ子」…ぬくぞに思いが集約されたスローガンです。

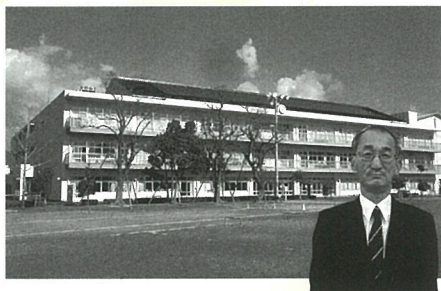
# 2ブロック 母衣小学校

## 我が校の自慢

母衣小の子どもたちは歌うことが大好きです。ミニコンサートは、子どもたちにとって人気の音楽集会で、個人やグループ、時には学年単位で出場し、生き生きと発表します。聴いている私たちも心温まるひと時です。

また、約80年前に作られて歌い継がれている校歌も大きな声でしっかりと歌います。今日も木のぬくもりがいっぱいの校舎に子どもたちの素敵な歌声が響いています。

校長 坂根哲治



## みんなの学校 きらりの声

「お父さん、お母さん、頑張れ〜!」毎年、母衣小学校の体育館に、子ども達の大きな声援が響きます。PTA体育部の活動で、ドッジボール大会が行われます。

この日は、子どもではなく、保護者が主役になり、子ども達に活躍を見せる事が出来る大切な場です。学年の壁を越えて保護者同士の交流もでき、団結力も増していきます。楽しく気持ちいい汗をかけるこの活動は、これからも大切にしていきたい活動です。

体育振興会会長 佐伯英俊



## 我が校の自慢

今年度より、松江四中は、東京都江戸川区立松江第四中学校と姉妹校になりました。

交流を通して、お互いの学校の相互理解と教育レベルの向上を図りたいと思っています。

9月26日(金)から3日間、校長、教員1名、生徒会長、副会長が、江戸川四中に訪問しました。調印式だけでなく、一緒に授業や部活動にも参加しました。ホームステイで江戸川四中のPTAの方にもお世話になりました。2日目、3日目には、江戸川松江四中の生徒会の案内で、都内めぐり(江戸川四中では、総合的な学習で都内めぐりを学習します)と一緒にしました。現在、学校紹介ビデオ、生徒会新聞、生徒の美術、家庭科作品、書道の作品等の交換をしています。これから、どんな交流になるか楽しみです。

校長 福頼敬二



## みんなの学校 きらりの声 保護者が授業を受ける日

今回松江四中PTAの活動の中から、「トライスクール」を紹介します。

もう何年も続くこの企画、普通学校は「子どもたちが授業を受ける場」ですが、親も教員も学校で授業を受けてみようという趣向です。数年ぶりに(数十年ぶり?)に学校で受ける授業はとても新鮮です。

今年は「コーヒーの入れ方」「ヨガ・ストレッチ教室」「フラワーアレンジメント」「ビーズ教室」の四講座を設置しました。参加者全員生徒の気分に戻って、教室で受ける授業を堪能しました。2時間の講義の後、今年は「思春期の食育について～望ましい食生活を目指して～」について大妻女子大学教授・川口美喜子先生に講演をしていただきました。お茶とお菓子をいただきながら、体育系部活動の生徒も参加してとても有意義な半日を過ごすことができました。

PTA会長 松本卓也



## シンボルクイズの答え①

- 1 雑賀小学校「若槻禮次郎総理大臣肖像画」…草光信成作。1月2日～3月9日県立美術館で展示。
- 2 鹿島中学校「図書館」…木の格子に囲まれた円柱形の建物です。
- 3 乃木小学校「夢と希望をありがとう」…ぼくらの先輩 錦織圭選手 ファイト!
- 4 第二中学校「美しくあれ 強くあれ」…校歌の一節。生徒にとってあらゆる活動の旗標です。
- 5 佐太小学校「清原太兵衛像」…江戸時代に佐陀川を開削した郷土の偉人です。
- 6 第三中学校「石碑“包む”」…平成13年3月に「白濁・朝日・雑賀」すこやかな子どもを育てる活動推進協議会」によって、作られた。
- 7 八雲中学校「中庭の『しいの木』」…全普通教室から見える生徒にとって憩いの木です。
- 8 出雲郷小学校「野々内保太郎さんのPTA創立50周年の記念作品」…日本画家、本校卒業生。
- 9 古志原小学校「植樹記念の碑」…校歌にも歌われている栂檀(せんだん)の木の碑です。
- 10 宍道小学校「佐々布川遊び」…校舎と校庭の間に佐々布川が流れています。6月～7月には大休憩や昼休みに川に入って遊ぶことができます。
- 11 島根中学校「地域伝統のバスケット」…統合11年目の今年は4回目の全国大会に出場。
- 12 鹿島東小学校「校門」…市町村合併前の鹿島町立東小学校の校名が残っています。
- 13 川津小学校「紫雲丸遭難記念碑」…命の大切さを学ぶ学習を60年継承しています。
- 14 第四中学校「らるたん1号・2号」…「当たり前」(NATURAL)を反対に並べて「らるたん1号」が、「思いやり」のつぼみが出た「らるたん2号」が四中のシンボルです。
- 15 大谷小学校「松江市内で唯一の木造校舎」…昭和11年(78年前)に建てられました。 [中面につづく](#)

## 我が校の自慢

### 揖屋っ子は本が大好き!

揖屋小学校の子どもたちは、疑問に思ったことを図書館にある本や資料などを使って調べ、まとめて、みんなの前で発表する学習をとっても得意にしています。

これは揖屋小学校の全教職員が子どもたちといっしょに取り組んできた図書館活用教育(調べ方・まとめ方などが分かる学習)の成果だと考えています。図書館はいつも、本を借りたり調べ学習に取り組んだりする子どもたちでいっぱいです。

校長 浜田啓文



## 7ブロック 揖屋小学校

### みんなの学校 きらりの声

揖屋小PTAは、総務、教養、安全、保健、環境の5つの専門部で構成され、様々な取り組みをしています。中でも総務部の担当事業で、毎年恒例の「通学合宿」を去る10月13日から17日の5日間で行いました。児童だけで朝夕の食事の準備、片付け、食材の買い出し、掃除、洗濯と自分たちで協力して、共同生活を送りながら通学するというものです。PTA各専門部も協力し、児童の自主性を尊重して、見守りました。初日こそ台風の上陸によって宿泊はありませんでしたが、最終日には、みんな仲良く充実した笑顔を見せてくれました。PTAとしても、児童を通じて、親同士の交流もはかれ、有意義な事業になりました。

PTA会長 石原博行





## メディア対策特別委員会



私達メディア対策特別委員会は、各ブロックから代表を1名選出して頂きまして、市P連副会長2名を加えて、合計10名のメンバーで活動しております。

この委員会は平成24年から設置され、2年1クールで活動し、今年度から2クール目となります。

今年度から27年度末までの期間では、活動方針をこれまでの『子どもたちに、携帯電話を持たせない、持ち込ませない』から、『電子メディアと上手に付き合う、上手に使いこなす』と定め、また私ども松江市PTA連合会の会員である皆さん、すなわち親（保護者）を対象として、電子メディアの上手な使い方や付き合い方を一緒に学んでいくこととしました。

現在まで、毎月1回2時間から3時間に及ぶ激論を経て、計画を立案しており、27年度からは各小学校・中学校単位やブロック単位で研修会を開催して頂けるように、講師の派遣等でサポートしていくために、より具体的に現在準備をしているところです。

27年度では、数多くの単Pで研修会を開催して頂けるよう頑張ってお参りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

メディア対策委員長 長谷川修二



## 大庭小学校PTA 日本PTA全国協議会会長表彰

受賞おめでとう!



先輩PTAの皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。大庭小学校PTAの今年度のテーマは『みんなで育てよう大庭の輪』です。これからも、子ども達、学校、保護者、地域の皆様と共に学び成長していけるPTAをめざします。

## 松江市PTA連合会研修会が開催されました

去る1月18日に、今年度の松江市PTA連合会研修会が開催されました。当日は天候にも恵まれ約90名の参加者の皆さんによる「親楽プログラム」による研修が開催されました。「子どもに伝えるのって難しい!」（親子のコミュニケーション）、「朝食は目覚めのスイッチ」（生活リズム）、「子どもに本当に必要ですか」（しつけとルール）、「家庭学習の習慣を付けるために」（しつけとルール）、「SOSを見逃さない」（いじめ予防）の五つのグループに分かれ、ワークショップを行い、はじめは緊張気味の皆さんでしたが、すぐに打ち解けて和やかな雰囲気の中で様々な学びが深まりました。以下参加者の方の感想です。



「普段から子どもとどう接しているのか、自分を振り返ることができた。親同士の普段からの繋がりも大切だとわかりさらにそういう視点でPTA活動をしていきたい」と改めて感じさせていただいた。」（小学生保護者）

「テーマを絞ってそれについてじっくり考えてみることで、気づきが有りまた他者の考えなども参考になる場でした。」（中学生保護者）

「気になっていることや困っていることがありながら日々の生活に追われて深く考えようとしていないことが多い様に思う。大切なことを考える良い機会になった。」（教員）

今回は様々な内容の親楽プログラムを体験していただき、それぞれの地域の研修等に活かしていただくことをねらって開催しました。各単位PTAでさらに親楽プログラムが充実して展開されることを期待しています。参加された皆様、お世話を頂きましたファシリテーター・教育委員会の皆様、本当にありがとうございました。



研修委員長 後藤康太郎

### 編集後記

実は私、松江市PTA連合会も自校のPTA役員としても1年生なんです。縁あって、どちらのPTAでも会報誌発行に関わらせていただきました。優秀な委員さん部員さんに恵まれたおかげで、とても良い物が出来上がった事に大変感謝しております。この「きらりまつえ」は、松江市の小中学校を紹介しています。どこの学校も特色に溢れていて、可能ならば実際に訪問したり、授業を覗いてみたくなったりもしました。娘の保育園時代、松江市保育所(園)保護者会連合会の執行部でお世話になっていたのですが、その時の「所(園)巡り」という、いろいろな保育所(園)を訪問させていただいていた時の記憶が蘇りました。「良いところはどんどん取り入れる」という意味で、他校を実際に訪問したり、活動を見たり参加したり、授業を見たりしたらいいなあ、と感じたのであります。この「きらりまつえ」をお読みになって、同じことを感じられた方もいらっしゃると思います。もしかしたら、将来「きらりまつえ」が、映像として皆様のもとに届けられる日が来るかもしれませんね。(会報副委員長 三島智哉)

## 第44回 中国ブロックPTA研究大会 岡山県玉野大会

昨年11月8日、「共に育てよう 夢と希望とやさしい心 子どもたちの未来のために」の大会主題のもと、「晴れの国」岡山県玉野市にて、第44回中国ブロック研究大会が開催され、松江市PTA連合会からは26名が参加しました。2日間にわたる研究大会初日は岡山県PTA連合会による子どもの生活状況実態調査「早寝早起き朝ごはん」の報告や、教育委員会による夜間のスマートフォンやゲームの利用制限への取り組みなど、私たちの日頃のPTA活動への参考となるお話を聞かせていただきました。



2日目には長島愛生園への視察を行い、ハンセン病患者の方々への差別や偏見の歴史を目の当たりにし、「歴史を正しく知り、正しく行動する」ことの大切さを改めて認識されられた、大変貴重な経験となりました。

昭和47年から開催されているこの中国ブロックPTA研究大会。第45回は今年11月、出雲市で開催されます。

会報委員 小豆澤美穂

### 平成26年度会報委員

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 浅田健太郎 (内中原小) | 杉谷 高明 (玉湯小)  |
| 浅野 浩之 (生馬小)  | 香川 善文 (湖北中)  |
| 稻場 英司 (第二中)  | 新原 民恵 (恵曇小)  |
| 坂本 千晶 (母衣小)  | 吉長美奈子 (八雲中)  |
| 久家 真二 (雑賀小)  | 三島 智哉 (揖屋小)  |
| 上田 誠 (忍部小)   | 小川 千春 (島根中)  |
| 金森 徹 (第四中)   | 菊川 清治 (美保関小) |
| 小豆澤美穂 (津田小)  | 善波 孝人 (美保関小) |
| 白石 浩久 (宍道中)  | 北脇 孝夫 (美保関小) |

編集/松江市PTA連合会 会報委員会

印刷/株式会社谷口印刷